

芝生の効果

1. 子どもの様子

- ・ トンボやバッタ、蝶々が校庭に現れ、休み時間には、子ども達が昆虫を追いかけたりして楽しく遊んでいる光景が見られた。
- ・ 休み時間に運動場で遊ぶ子どもが増え(裸足で遊ぶ子もいた)、運動量が増加した。
- ・ 校舎内の廊下や教室に上がる土や砂が少なくなり、清掃時間に舞い上がる砂ほこりが減り、清掃時の子ども達の環境衛生面に有効であった。
- ・ 子ども達にとっては安全に、のびのびと思いきり遊べ、怪我の予防につながった(運動場では擦り傷などの怪我をした子はいなかった)。
- ・ 運動場全体の気温も下がり、校舎内も涼しくなり、「ヒートアイランド」現象をやわらげる効果があった。

2. 地域連携の様子

- ・ 芝生を通して、地域との連携が深まった。
- ・ 運動場芝生化により、保護者・地域の方々の反応は、「子どもの健やかな成長のために」有効な環境づくりになることが理解され、大変喜ばれ、学校への信頼感もより一層深まった。
- ・ 正門から入ると校庭の芝生が目に入り、きれいな学校、うつくしい学校と呼ばれる。
- ・ 芝生が地域の話題にあがるようになった。
- ・ こどもまつり、もちつき大会、グランドゴルフ大会、ニュースポーツ体験等のイベントを芝生の上で開催し、好評であった。

課題

- ・ 芝生化に係る費用の工面
- ・ 芝生を根付かせるまでの養生期間(2~3ヶ月)中は、校庭の利用が制限される。
- ・ 芝生の維持管理作業に関する知識と労力が必要

教育委員会の
フォロー

安価な維持管理方法の紹介
や経費工面のアドバイスを行っている。

体育館の利用や校庭の利用者間での調整、各
学校の校庭利用の実情に応じて芝生施工場所
のアドバイスを行っている。

実行委員会等と本市が連携し、意見交換会を
開催している。また、NPO団体の協力を得
て、各学校の芝生について、具体的な維持管
理方法を各実行委員会等に説明している。